環境経営レポート

（ 2022年6月1日～2023年5月31日）

FUCHIGAMI

株式会社 フチガミ
人と自然に優しい快適さの追求

発行日　2023年8月1 日

目　次

1.組織の概要　・・1

2.環境経営方針　・・2

3.組織図及び実施体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

4.環境活動の取組結果及び評価並びに次年度の目標　・・・・・・・・・・・・・・4

5.環境活動の取組計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

6.環境活動の取組結果及び評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

7.環境関連法規制の遵守状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

8.その他の活動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8～10

9.代表者による全体評価と見直しの結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

1. 組織の概要

1.　名　称　株式会社 フチガミ

代表者　代表取締役社長　渕上 雄司

2．所 在 地　〒861-0552

熊本県山鹿市杉739－1

TEL(0968)43-3496 FAX(0968)44-0439

e-mail:k-futigami@mx71.tiki.ne.jp

3.環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者　小田原 宏

担当者　吉田 孝司

環境管理責任者

4.事業の内容　土木構造物及び送電線建設維持に係わる施工

建設業許可登録

熊本県知事許可(特-4)第505号

土木工事業　とび･土工工事業

舗装工事業　水道施設工事業

解体工事業

熊本県知事許可(般-4)第505号

電気工事業　管工事業

造園工事業

技術者

一級土木施工管理技士	5人
二級土木施工管理技士	10人
一級建設機械施工技士	1人
一級舗装施工管理技士	1人
二級舗装施工管理技士	1人
二級造園施工管理技士	2人
二級電気工事施工管理技士	1人
二級管工事施工管理技士	1人

5. 事 業 年 度　6月～翌年5月

6.事業の規模

	単位	2020年度	2021年度	2022年度
完成工事高	百万円	403	470	553
従業員数	人	33	27	27
床面積	㎡	909.85	909.85	909.85

7.認証登録範囲　株式会社 フチガミ 従業員

土木構造物及び送電線建設維持に係わる施工

2. 環境経営方針

基本理念

私たちは、事業活動がどのような環境影響を及ぼしているかをよく認識し、環境に配慮する具体的な手段並びに推進体制を定め、これを継続的に改善し、地球の温暖化防止対策を推進すると共に、循環を基調とした持続的発展が可能な社会を築く一旦を担うことを目指します。

環境活動方針

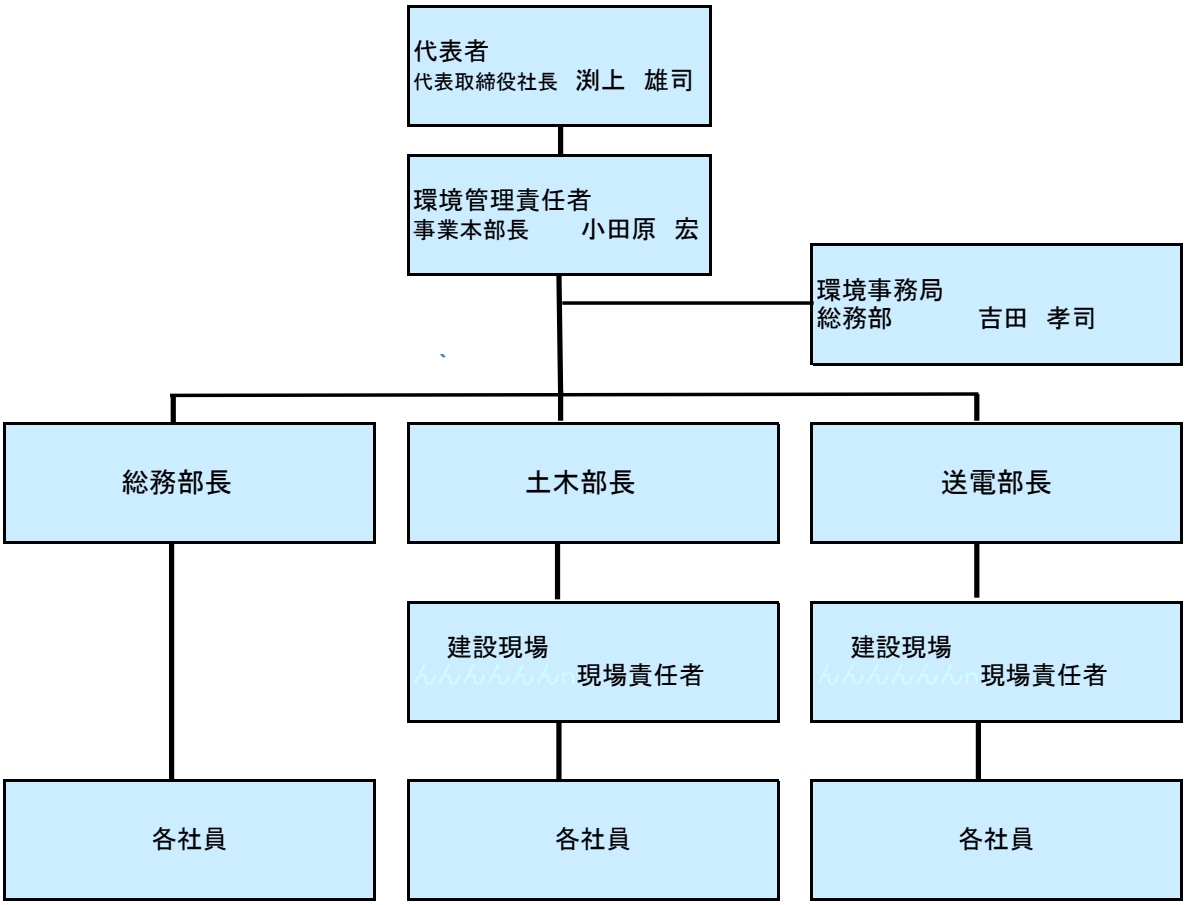
当社は、全ての事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識し、建設工事に伴う環境負荷を軽減するため、以下の環境保全活動を推進します。

１．事業活動（土木構造物及び送電線建設維持に係わる施工）による環境への影響を把握して、環境保全活動を継続して行います。
２．常に情報や知識の収集・習得に努め、環境保全活動に活用します。
３．関連法規制、条例、その他要求事項を遵守します。
４．環境影響を軽減するため次の活動を実施します。
　１）事業活動で使用する電気・ガス・燃料・水の使用量の削減
　２）事業活動に伴う廃棄物の削減及びリサイクルの推進
　３）グリーン購入の推進
　４）生産・提供する製品及びサービスに関する環境配慮
　５）化学物質の適正な管理

制定：2013 年 8 月 1 日
改正：2021 年 6 月 1 日
株式会社　フチガミ
代表取締役社長　渕上　雄司

３．組織図及び実施体制

対象は株式会社フチガミ全部門であり、下記の組織に基づき環境活動を行っている。



責任と役割及び権限

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間能技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境活動実施計画書を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	・環境管理責任者、ＥＡ２１推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
現場責任者	・自現場における環境経営システムの実施 ・自現場における環境方針の周知 ・自現場に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自現場の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境活動の取組結果及び評価並びに次年度の目標

※年度については当社事業年度（6月～5月）　　年度については当社事業年度(6月～5月)

環境目標	単位	2013年度	2022年度		2022年度		2023年度		2024年度	
		基準年の実績	実　績		目　標		目　標		目　標	
二酸化炭素排出量の削減	総量(kg-CO2)	158,355	－17.0%	131,396	－5.0%	150,815	－5.0%	150,815	－4.8%	150,815
	工事高100万円あたり(kg-CO2/100万円)	460.3		237.6		481.9		481.9		481.9
電気使用量の削減	総量（kWh）	42,984	－18.5%	35,015	－5.0%	40,834	－5.0%	40,834	－5.0%	40,834
	工事高100万円あたり（kWh/100万円）	125.0		63.3		118.7		118.7		118.7
ガソリン使用量の削減	総量(ℓ)	24,989	－32.3%	16,927	－5.0%	23,740	－5.0%	23,740	－5.0%	23,740
	工事高100万円あたり（ℓ/100万円）	72.6		30.6		69.0		69.0		69.0
ガソリン車燃費の向上	km／ℓ	12.92	＋15.9%	14.97	＋5.0%	13.56	＋5.0%	13.56	＋5.0%	13.56
軽油使用量の削減	総量（ℓ）	32,407	－11.8%	28,599	－5.0%	30,787	－5.0%	30,787	－5.0%	30,787
	工事高100万円あたり（ℓ/100万円）	94.2		51.7		89.5		89.5		89.5
ディーゼル車燃費の向上	km／ℓ	7.24	＋4.7%	7.58	＋5.0%	7.60	＋5.0%	7.60	＋5.0%	7.60
産業廃棄物量の削減	t	1,635	246.02		―――		―――		―――	
リサイクル率(がれき類)の維持	%	100		100		100		100		100
総排水量（給水量）の削減	㎥	497	＋13.1%	562	－5.0%	472	－5.0%	472	－5.0%	472

二酸化炭素排出係数：0.479(kg-CO2/kWh)　九州電力㈱　調整後排出係数　（2022年度）

5. 環境活動の取組計画

1．環境活動の取組結果		
取組事項	空調の温度設定	
1．二酸化炭素排出量の削減		評価
(1)電力消費量の削減（5.0%削減）	空調の温度設定　冷房：28℃　暖房：20℃	○
	・昼休みの照明消灯	○
	・エアコンフィルターの定期点検	○
	・使用箇所以外の照明の消灯	○
	・PC不使用時の電源OFF、スリープ設定	○
(2)ガソリン・軽油作業使用量の削減	・エコドライブ運転の徹底	○
	・IT/ICTを利用しての工事施工	○
	・交通安全指導の徹底	○
2．一般廃棄物排出量の削減	・使用済み用紙の裏面使用	○
	・新聞、雑誌、ダンボールなど紙類の分別	○
	・ビン、カン、ペットボトルなどの分別	○
3．産業廃棄物の削減と分別、リサイクル	・マニフェストの管理	○
4．水資源の使用量削減	・水道水の節水 無駄な水の流しっぱなしはしない。	×※
5．工事現場での取組	・工法手順を事前に打ち合わせし、無駄な作業をなくす	○
	・資材・看板等の再利用は積極的に利用する	○
	・現場で緊急事態訓練の実施	○
	・全現場での事故0　手直し0　活動取組	○
	・現場・倉庫の片付　整理整頓で効率よく作業	○
6．省資源の推進、グリーン購入の推進	・グリーン購入の推進	○
	・リサイクル製品の積極購入	○
7．環境保全の仕組み及び体制の整備	・環境関連法規制の学習と法規制の遵守	○
	・環境コミュニケーション及び社会貢献の推進	○

※目標数値未達成　事務所池の水閉め忘れあり、確認体制を再構築し実施。

上記の目標のほか、以下の取り組みを推進します。

① ３Ｓ活動の推進

作業現場の製造効率を向上させるために３Ｓ活動（整理、整頓、清掃）に取り組みます。

② 事務用品購入に際してはエコマーク商品の購入を心がけます。

③地元・地域コミュニケーションを積極的に図る

６. 環境活動の取組結果及び評価

１. 環境活動の取組結果

当社における二酸化炭素の排出量、廃棄物の排出量、水の使用量の実績は以下の通りです。

	環境負荷実績	単位	2022年目標	2023年度実績	評価
1	二酸化炭素排出量	kg-CO2	150,815	131,396	○
2	産業廃棄物	t	―――	246.0	---
	リサイクル（がれき類）率の維持	%	100	100	○
3	給水量の削減	m3	472	562	×

二酸化炭素排出係数0.479(kg-CO2/kwh)　2022年度）

２. 評価及び次年度の取組内容

二酸化炭素排出量			単位	目標達成できた。各項目の使用量は現場の数・場所によって変動していくので、各項目毎の燃費や現場事務所毎の電気使用量をチェックし、節電・節約していきたい。
	目標値（基準年度より5.8%減）	150,815	kg-CO2	
	実績	131,396	kg-CO2	
	目標値に対する達成率	114.78%		
	電気使用量			目標達成できた。全体の数字は、現場の数や場所によって変化するので、参考にならないが工事高100万当たりの使用量も削減できていた。猛暑等により使用量の削減が難しいところもあるが、無駄な電気の使用抑えていきたい。
	目標値（基準年度より5.0%減）	40,834	kWh	
	実績	35,015	kWh	
	目標値に対する達成率	116.62%		
	ガソリン使用量の削減			目標達成できた。営業車のハイブリッド化、現場数の減少等があげられるが、引き続きエコ運転の指導や車入れ替え時にエコカーの検討等、実施していきたい。
	目標値（基準年度より5.0%減）	23,740	ℓ	
	実績	16,927	ℓ	
	目標値に対する達成率	140.25%		
	ガソリン車燃費の向上			社有車の燃費の使用量も目標達成できた。夏場は空調服や冷却ベスト等の熱中症対策も効果があり夏場の燃費が抑えれた。継続して実施していきたい。
	目標値（基準年度より5.0%増）	13.56	km／ℓ	
	実績	14.97	km／ℓ	
	目標値に対する達成率	110.40%		
	軽油使用量の削減			年間通して目標達成できた。会計年度末に仕事が終わり、一気に使用量が削減になったのが要因である。使用料は現場数によって左右されるので、軽自動車の燃費向上に力を入れていきたい。
	目標値（基準年度より5.0%減）	30,787	ℓ	
	実績	28,599	ℓ	
	目標値に対する達成率	107.65%		
	ディーゼル車燃費の向上			社有車の軽油燃費目標に少し届かなかった。エコドライブ運転の徹底・ダンプの入れ替え等を実施し前期,より数値は改善した。燃料代の高騰もあるので、引き続き燃費の向上を図っていく。
	目標値(基準年度より5.0%増)	7.60	km／ℓ	
	実績	7.58	km／ℓ	
	目標値に対する達成率	99.74%		
産業廃棄物（がれき類）				がれき類は全量リサイクル処理した。 引き続き、がれき類リサイクル処理、マニュフェスト管理を実施していく。
目標値（リサイクル率100%）		100	%	
実績		100	%	
目標値に対する達成率		100%維持		
総排水量（給水量）の削減				総排水量は、目標達成できなかった。会社池の水出しっ放しが2日ほどあり、それが大きな要因となった。　チェック機能を明確にし水の使用量の増加を抑えていきたい。
目標値（基準年度より5.0%減）		472	m3	
実績		562	m3	
目標値に対する達成率		83.99%		

工事現場での取組

・工事現場では、工事着手時に工法、手順を検討し無駄な作業を排除するように努めた。また、工法手順は、都度（工程毎等）見直しを行い無駄な作業が発生しないように努めた。（ICT施工活用）
・現場内の片付け、整理整頓を心がけて、効率良く作業が出来る環境作りに努め、資材の有効利用、作業員の効率的な配置に努めた。
・エコドライブ10の徹底を図った。

省資源の推進、グリーン購入の推進

・事務用品等の購入は、グリーン購入を心がけた。
・工事資材に関しては、砕石等の再生資材は積極的に使用した。
・看板等は積極的に再利用した。

環境保全の仕組み及び体制の整備

・取組計画を見直し
・環境関連法規制等の改正等の情報を収集して、法規制等登録簿に記載し順守状況を確認した。
・地域清掃ボランティア実施（日輪寺清掃ボランティア・ロードクリーンボランティア等）

7. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの順守状況

法規制の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の排出	・廃棄物置場＝良好 ・ﾏﾆﾌｪｽﾄ確認＝保管OK ・「交付状況報告」＝OK 契約書・許可証確認＝OK
建設リサイクル法	分別解体と再資源化	・該当工事＝届出　OK
浄化槽法	浄化槽の維持管理	法定検査（年1回） 令和5年7月21日 点検・清掃（月１回）
消防法	危険物の保管（少量危険物貯蔵庫）	・保管状況＝問題なし
振動規制法・騒音規制法	該当する工事の時は届け、規制値を守る。	該当事項なし
フロン排出抑制法	カーエアコンの適正廃棄 簡易点検:3か月に1回以上	該当事項なし 点検・清掃（月１回）
家電リサイクル法	家電品の適正廃棄	・適性廃棄
資源有効利用促進法	パソコン、ディスプレイの適正廃棄	該当事項なし

(2) 違反、訴訟等

関連関係法規への違反、訴訟はありません。又、関係当局からの違反等の指摘は、過去３年間はありません。

(3)外部からの苦情等

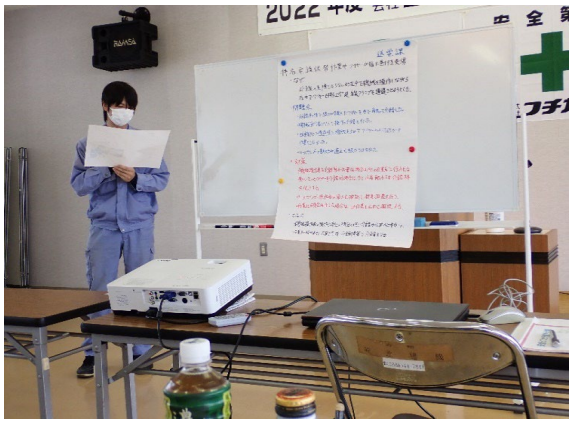
環境問題等の外部からの苦情等はありません。

8.その他の活動状況

（1）安全大会・・・毎年7月に安全大会を実施しています。社員全員で労働安全講話・グループディスカッション安全DVD・訓練等をおこなっています。　2022年7月22日実施

社長挨拶

安全講話



事故防止検討発表会

事故事例・現場の安全

健康安全講話

永年勤続表彰

(2)ボランティア活動・・・当社では日輪寺除草ボランティア・ロードクリーンボランティア・杉地区除草ボランティア献血活動等さまざまな活動を実施・参加しています。

日輪寺除草　2023.4.3

ロードクリーンボランティア　2022.9.16

東部農免道における美化・保全(清掃・除草等)活動　2022年5月

（3）AED・心肺蘇生法・・・・・山鹿消防署より講師の先生を招いて緊急事態訓練　　7/21安全大会で実施

（4）職場環境改善・・・・夏場の熱中症対策として空調服・冷却ベスト・水筒・塩昆布等を支給しています。
ウイルス対策として酸性電解水生成装置を事務所に設置しています。

空調服

冷却ベスト

８．代表者による全体評価と見直しの結果

温暖化に伴い猛暑日が増加している。

燃料代、電気代の削減は会社としても不要な支出を減らせることもあり、今後も継続してよいが、当社は建設業であり、工事が多ければ燃料費も増加し、酷暑日（夏・冬）の環境次第では光熱費なども増加するだろう。

今後の行動の一つとして、グリーンカーテンの設置、環境考慮型の資材活用等具体的活動を取り組み目標に入れていくこともよいのではないか？

その他の社員教育、日輪寺除草、ロードクリーンボランティア等当社独自の取り組みとともに建設業協会、漁協、商工会議所、法人会などが実施する活動にも積極的に参加し当社並びに社員のレベルアップを図ることも必要。

2023年8月1日

株 式 会 社　フ チ ガ ミ

代表取締役社長　渕上　雄司

	変更の必要性の有無	指摘事項
方　　針	無	－
目標・計画	有	グリーンカーテンの設置、環境型の資材活用の取り組み計画に追加
抑　　制	無	－